

貸借対照表

(2024 年 12 月 31 日 現在)

株式会社ダイテック

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	886,992	I 流動負債	501,278
現金及び預金	406,395	買掛金	88,481
売掛金	367,255	工事未払金	248,958
完成工事未収入金	46,270	未払金	40,844
契約資産	56,276	未払費用	5,557
商品	2,713	未払法人税等	41,594
未成工事支出金	0	未払消費税等	20,286
前払費用	1,751	契約負債	4,855
前渡金	6,005	預り金	11,437
未収入金	235	役員賞与引当金	8,800
立替金	23	賞与引当金	30,462
仮払金	63	II 固定負債	4,747
II 固定資産	173,574	繰延税金負債	4,747
1.有形固定資産	7,288	負債 合 計	506,025
建物	1,339	(純資産の部)	
構築物	548	I 株主資本	545,431
工具器具及び備品	861	1.資本金	10,000
土地	4,540	2.利益剰余金	535,431
2.無形固定資産	1,153	利益準備金	2,500
電話加入権	1,153	その他利益剰余金	532,931
3.投資その他の資産	165,131	繰越利益剰余金	532,931
投資有価証券	120,362	II 評価・換算差額等	9,109
繰延税金資産	18,063	その他有価証券評価差額金	9,109
出資金	310		
敷金	305		
長期差入保証金	399		
保険積立金	25,691		
		純資産合計	554,540
資 産 合 計	1,060,566	負債・純資産合計	1,060,566

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

重要な会計方針

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券

時価のあるもの : 決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの : 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

未成工事支出金 : 個別法による原価法

商品 : 総平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 : 定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備は除く）、2016年4月1日以降に取得した建物付属設備および構築物は定額法

3. 引当金の計上基準

役員賞与引当金

役員賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

工事契約

各種水処理設備の施工を行っております。主として原価回収基準を適用しております。

また、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

取引の対価は、主として、履行義務の充足とは別に契約期間中に段階的に受領するとともに、残額については履行義務を全て充足したのち概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

メンテナンス契約

浄化槽や水処理システムの保守点検及び建物管理業務を行っております。これらのメンテナンス

契約については、履行義務が時の経過にわたり充足されるため、契約期間に応じて均等按分し、収益を認識しております。

取引の対価は、主として、受注時から履行義務を充足するまでの期間における前受金の受領、又は履行義務充足後の支払を要求しております。

履行義務充足後の支払は、履行義務の充足時点から概ね1年以内に受領しており、重大な金融要素は含んでおりません。

当期純損益

1. 当期純利益は126,112千円であります。
2. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。